2019年3月期 決算説明資料

2019年5月14日

株式会社高見沢サイバネティックス

本資料は、2019年3月期決算短信から抜粋して作成したものです。

目　次

TAKAMISAWA CYBERNETICS

◆ 業績ハイライト　3
◆ 売上高の推移　4
◆ 営業利益の推移　5
◆ 経常利益の推移　6
◆ 当期純利益の推移　7
◆ 貸借対照表　8
　資産の部　主な増減　9
　負債の部　主な増減　10
　純資産の部　主な増減　11
◆ キャッシュフロー　12
◆ 経営方針　13
◆ 今後の取り組み　14
◆ 業績予想に関する注記事項　15

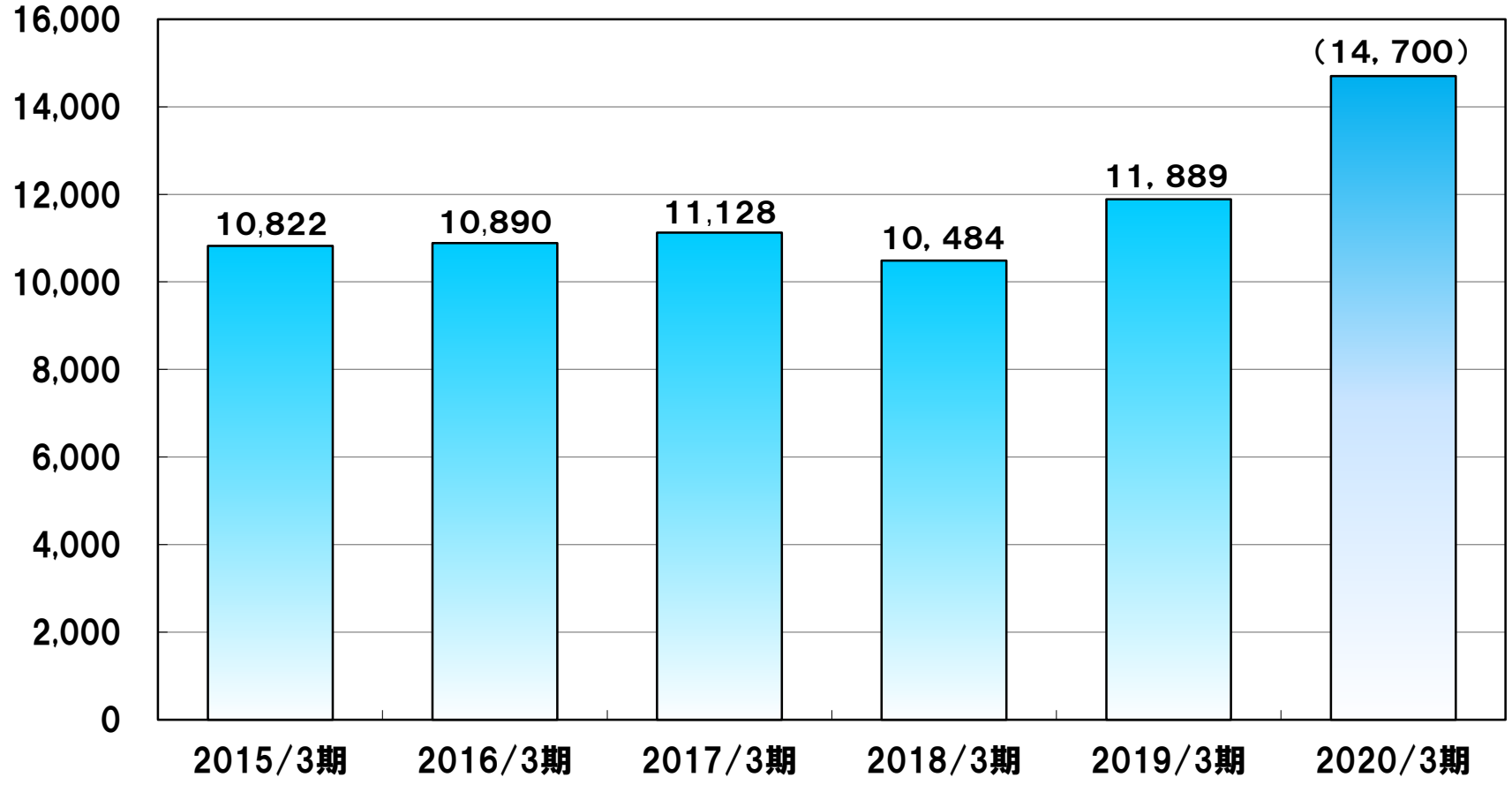
業績ハイライト（対前年比・連結）

	2018/3期	2019/3期	増減額
売上高	10,484	11,889	+1,405 （+13.4%）
営業利益	153	△619	△772 （－）
経常利益	168	△660	△829 （－）
親会社株主に帰属する当期純利益	25	△486	△511 （－）

単位：百万円

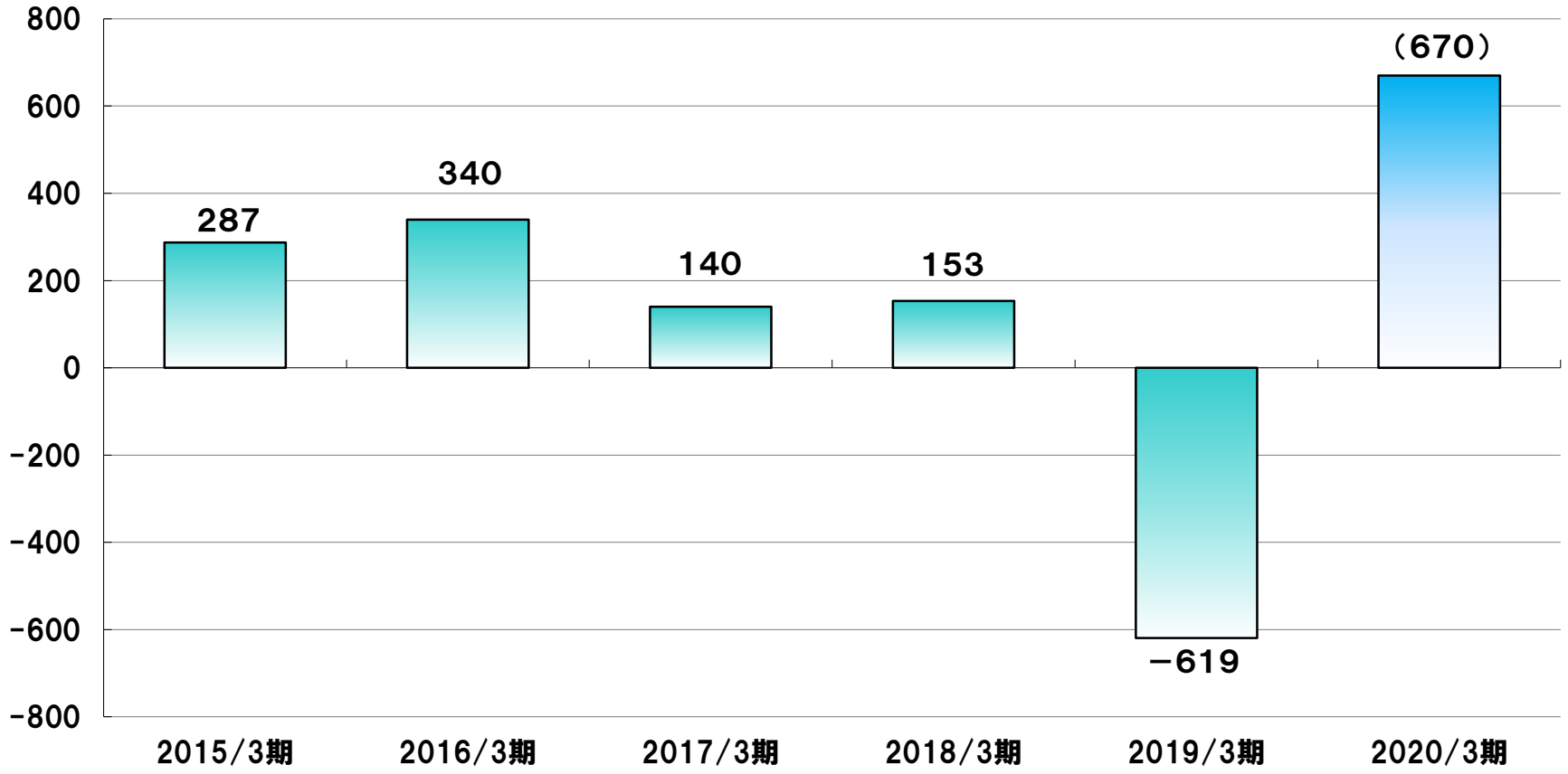
売上高の推移（連結）

単位：百万円



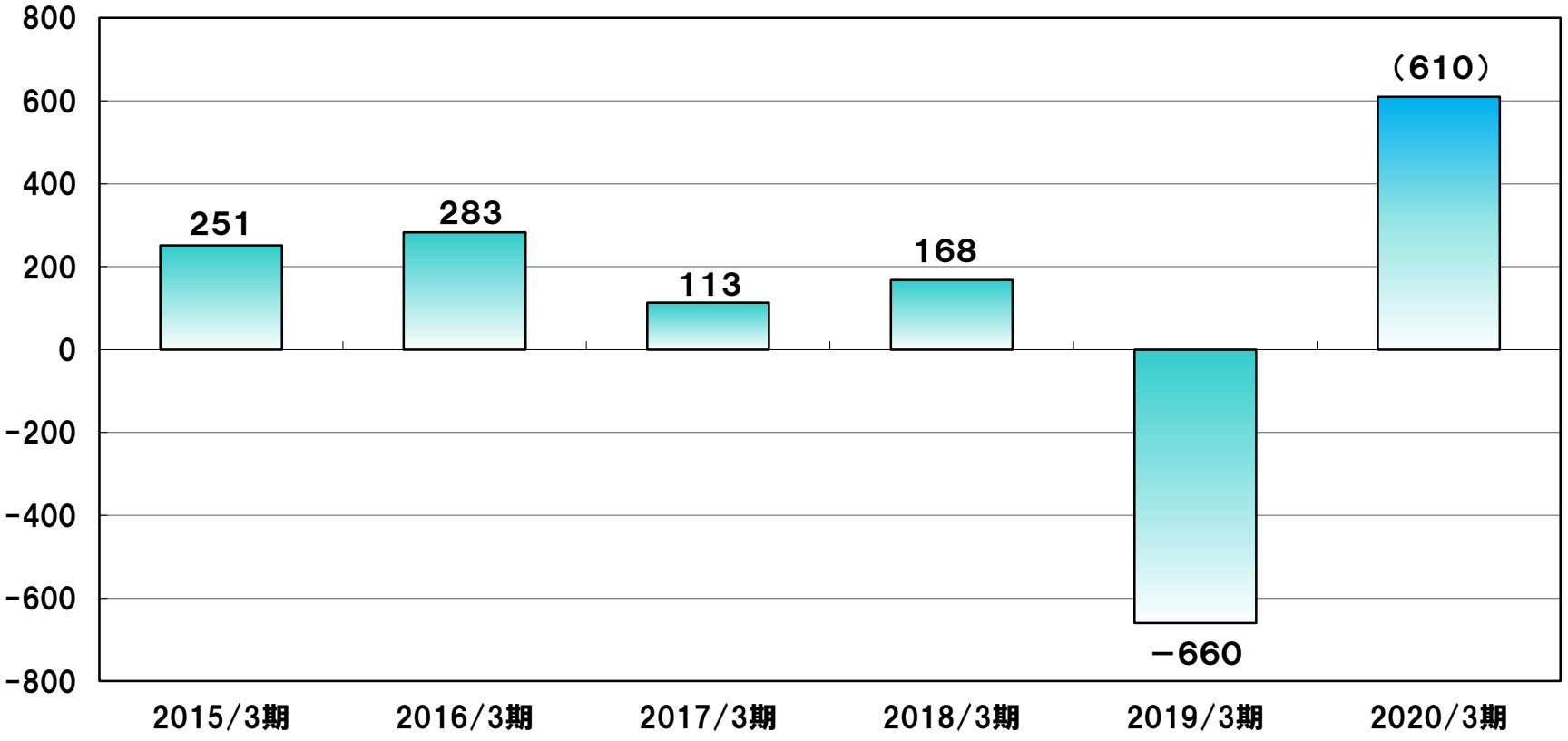
営業利益の推移（連結）

単位:百万円



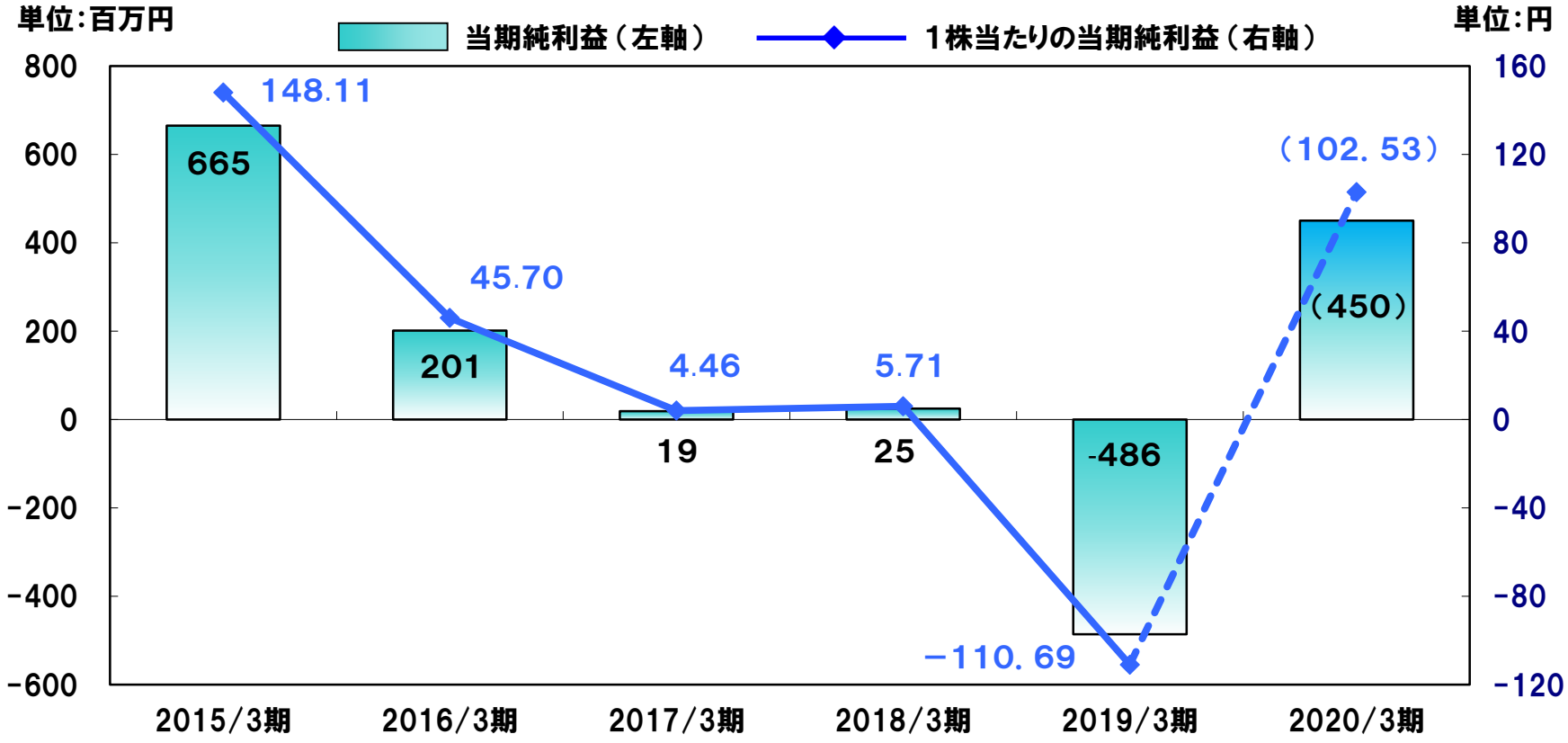
経常利益の推移（連結）

単位:百万円



当期純利益の推移（連結）

TAKAMISAWA CYBERNETICS



（注）2018年10月1日付で普通株式2株につき1株の割合で株式併合を行いました。
1株当たりの当期純利益は、2015年3月期の期首に当該株式併合が行われたと仮定して算出しております。

貸借対照表（連結）

TAKAMISAWA CYBERNETICS

資産の部 科目	2018/3期	2019/3期	増　減　額
流動資産	9，848	10，590	+741
固定資産	5，141	5，292	+151
資産合計	14，990	15，883	+892

負債の部 科目	2018/3期	2019/3期	増　減　額
流動負債	8，193	9，887	+1，693
固定負債	4，010	3，760	△250
負債合計	12，204	13，647	+1，443
株主資本	2，650	2，119	△530
その他の包括利益累計額	135	115	△20
純資産合計	2，786	2，235	△551
負債及び純資産合計	14，990	15，883	+892

（単位：百万円）

貸借対照表 資産の部(連結)主な増減

TAKAMISAWA CYBERNETICS

科　目	2018/3期	2019/3期	増　減　額
流動資産	9，848	10，590	+741
現金及び預金	2，710	2，917	+206
受取手形及び売掛金	4，619	4，880	+260
たな卸資産	2，340	2，662	+322
固定資産	5，141	5，292	+151
有形固定資産	3，470	3，372	△98
投資その他資産	1，583	1，825	+242
資産合計	14，990	15，883	+892

（単位：百万円）

貸借対照表 負債の部(連結)主な増減

TAKAMISAWA CYBERNETICS

科　目	2018/3期	2019/3期	増　減　額
流動負債	8,193	9,887	+1,693
支払手形及び買掛金	2,466	3,333	+867
短期借入金	4,630	5,010	+380
受注損失引当金	−	347	+347
固定負債	4,010	3,760	△250
長期借入金	555	465	△90
リース債務	849	724	△125
負債合計	12,204	13,647	+1,443

貸借対照表 純資産の部(連結)主な増減

TAKAMISAWA CYBERNETICS

科　目	2018/3期	2019/3期	増　減　額
株主資本	2,650	2,119	△530
資本金	700	700	±0
資本剰余金	722	722	±0
利益剰余金	1,324	793	△530
自己株式	△96	△96	±0
その他の包括利益累計額	135	115	△20
その他有価証券評価差額金	177	153	△23
純資産合計	2,786	2,235	△551

（単位：百万円）

キャッシュフロー（連結）

TAKAMISAWA CYBERNETICS

★ 営業活動によるキャッシュフロー

減価償却費　　：　６４４百万円

税金等調整前当期純利益又は純損失

：　△６７１百万円

売上債権の増加額　：　△２６０百万円

★ 投資活動によるキャッシュフロー

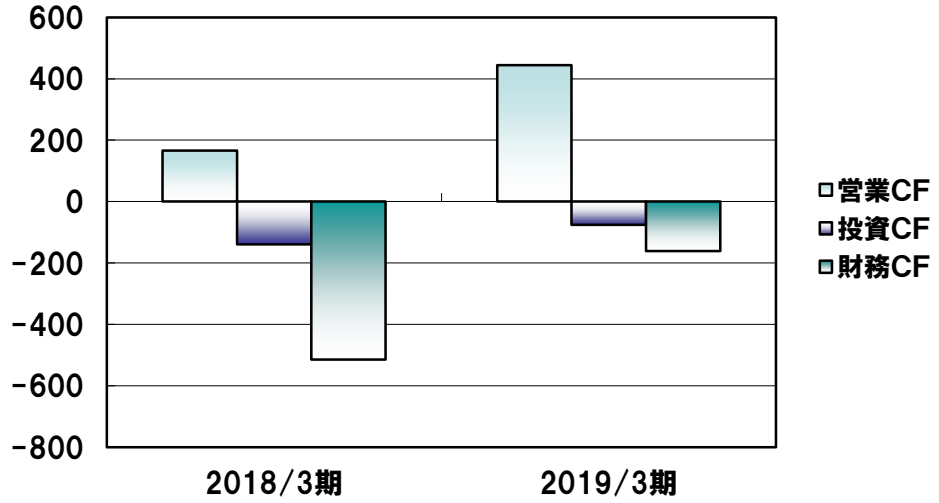
有形固定資産取得の支出　：△５２百万円

★ 財務活動によるキャッシュフロー

短期借入金の純減少額　：　５５０百万円

リース債務返済による支出：△４０７百万円

（単位:百万円）

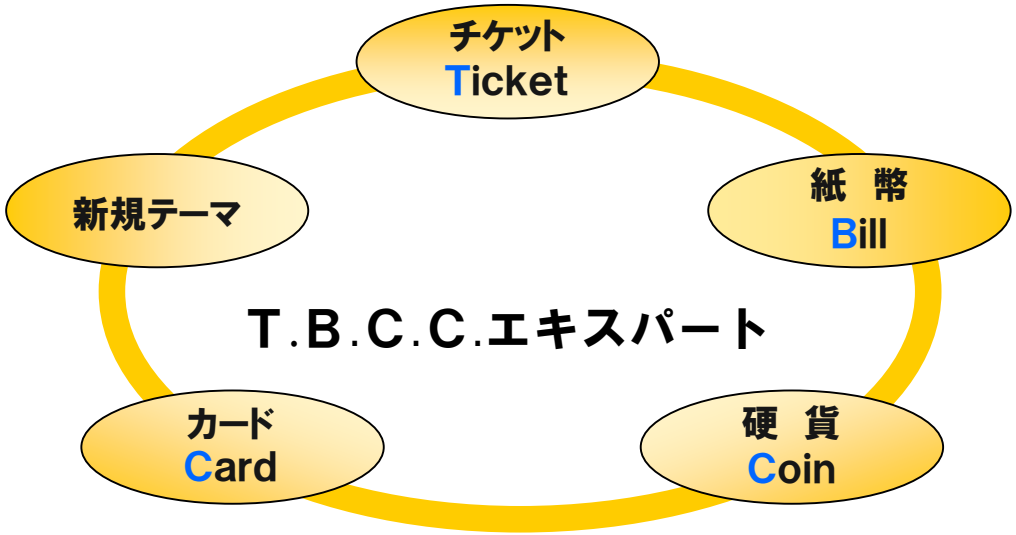


	2018/3期	2019/3期	増　減　額
営業活動によるキャッシュフロー	166	445	+278
投資活動によるキャッシュフロー	△139	△76	+63
財務活動によるキャッシュフロー	△515	△161	+354

（単位:百万円）

経営方針

当社グループは、『世の中に必要不可欠な会社を創造する』ことを経営理念とし、
独自のコア技術であるチケット、紙幣、硬貨、カードの処理技術を応用した製品
及びシステムの専門メーカーとして、高品質で高付加価値のある製品を
「交通システム機器」、「メカトロ機器」、「特機システム機器」の事業領域で
提供しております。



今後の取り組み

TAKAMISAWA CYBERNETICS

当社グループでは、各事業領域において下記の取組みを行ってまいります。

○ 交通システム機器

- 主力製品である出改札機器（自動券売機・ＩＣカードチャージ機等）の大型案件の対応
- 各種ホームドアシステム（腰高式ホームドア・昇降バー式ホーム柵）の拡販

○ メカトロ機器

- 世界５１ヶ国、３１０金種に対応した硬貨処理装置「グローバルコインユニット」を主力とし、東南アジアを中心にヨーロッパ、中南米などに向けて海外展開強化

○ 特機システム機器

- 2020年東京オリンピック・パラリンピック、2025年大阪万博開催に向けて需要拡大が予想されるセキュリティシステム・防災計測システム・パーキングシステムの各事業における営業活動強化

株式会社高見沢サイバネティックス

2019年3月期 決算説明資料

WebサイトURL：https://www. tacy. co. jp

業績予想に関する注記事項

本資料で記述している将来予測及び業績予想は、現時点で入手可能な情報にもとづき当社が判断した予想であり、潜在的なリスクや不確実性が含まれています。そのため、様々な要因の変化により実際の業績は記述している将来見通しとは大きく異なる結果となる可能性があることをご承知おきください。